■基礎データ

|  |  |
| --- | --- |
| タイトル | 洪水による災害を学び洪水への備えを考える |
| ねらい(学習目標) | 1. 洪水の特徴及び洪水によって起きる被害・影響を理解する。 2. 洪水から身を守るための備えを理解する。   ３. 洪水に関する避難情報と洪水から身を守るためのとるべき行動を理解する。 |
| 対象学年 | 中学生（「指導上の留意点」の表現を変更することで高校生にも応用可） |
| 教科・イベント等 | 事前学習１（総合的な学習・特別活動） |
| 学習形態 | 全員（授業）・グループ　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　計５０分 |
| 準備 | タブレット端末、電子黒板、新潟県防災教育プログラム（【洪水災害編】基本6～7・教職員用副読本／新潟県教育委員会・中越防災安全推進機構）、気象庁ホームページ・リーフレット、国土交通省ホームページ、内閣府ホームページ　など |

■学習の流れ

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 構成・主な学習活動 | | | | 指導上の留意点 |
| 導入（●分） | | | | |
| 1.災害の一種として「洪水」があることを知る。  〇大雨による洪水災害の怖さを理解する。  学習のポイント「洪水の特徴や危険性を学ぶ重要性を理解する。」 | | | ◎日本で起きる災害を何人かに発表させる（地震、津波、雷、暴風雨、洪水、竜巻、噴火、土石流、雪崩、大規模火災や爆発、人為災害等）。  ◎大雨によって起こる被害について何人かに発表させる（土石流、洪水害、内水はん濫、地すべり、がけ崩れ、高潮など）。  ◎令和元年東日本台風（台風第19号）による大雨災害など、過去に起きた洪水災害の写真や映像を見せながら、大雨によって起きる洪水災害をイメージさせる。  ※洪水に関する既知の知識を引き出す。  ※インターネットで公開されている写真を入手して教材に活用する。  ※気象庁ホームページ「台風や集中豪雨から身を守るために」やリーフレット「大雨や台風に備えて」などを活用して説明する。 | |
| 展開1（●分） | | | | |
| 2.洪水に関する基礎的な知識を理解する。  2-1.洪水の特徴を理解する  学習のポイント「洪水の仕組みを理解する。」  学習のポイント「洪水の種類や災害を起こす現象を理解する。」  学習のポイント「洪水の対策や浸水想定を理解する。」 | | | ◎本時の学習を通じて達成すべき狙いを伝える。  ◎洪水によって起こる被害について何人かに発表させる。  ※【洪水災害編】・基本6の写真を見せて説明する。  ・p227～230：全国各地の豪雨災害による被災の様子  ・p231～233：平成23年7月新潟・福島豪雨による被害の様子  ・p234～236：平成16年7.13水害による被害の様子  ※地域で過去に起きた洪水災害を事例として、インターネットで公開されている写真を入手して教材に活用する。  ◎洪水災害に関する基礎知識（洪水の種類）を理解させる。  ①外水氾濫と内水氾濫  ②大河川の氾濫と中小河川の氾濫  ③ゲリラ豪雨と巨大台風  ※【洪水災害編】教職員用副読本（p6～11）や気象庁リーフレット「大雨や台風に備えて」などを活用して説明する。  ◎洪水災害に関する基礎知識（浸水想定）を理解させる。  ①確率降水量  ②河川整備（防災施設）  ③浸水想定区域図とハザードマップ  ※ハザードマップは簡単な説明にする。  ※身近な地域内で洪水の危険性が異なることを理解させる。  ◎ワークシートにまとめる。  ※タブレット用の入力フォームを作成（ペーパーレス・可視化）。 | |
| 展開2 （●分） | | | | |
| 3.洪水から身を守るための備えを理解する。  3-1.津波から身を守るための避難行動や避難情報を理解する。  学習のポイント「洪水から避難するための適切な行動を理解する。」  学習のポイント「洪水から避難するために必要な情報を理解する。」 | | ◎地域で想定される洪水の危険性について何人かに発表させる。  ◎洪水に備えるための行動を理解させる。  ※問いかけ（想定）に対して何人かに発表させる。  ■問いかけの例  ・一人で自宅にいるとき大雨が降ってきて、市から避難勧告が発表されました。どのような行動をとりますか。  ■想定される答え  ・自宅で家族が帰ってくるのを待つ。  ・一人でもすぐに避難所に避難する。  ・テレビやインターネットなどで気象情報を入手する。など。  ※気象庁ホームページ「自分で行う災害への備え」などを活用して説明する。  ◎避難情報（警戒レベル1～5）の意味や取るべき行動を理解させる。  〇警戒レベル5　緊急安全確保（市町村が発令）  〇警戒レベル4　避難指示（市町村が発令）  〇警戒レベル3　高齢者等避難（市町村が発令）  〇警戒レベル2　洪水注意報・大雨注意報等（気象庁が発表）  〇警戒レベル1　早期注意情報（気象庁が発表）  ※警戒レベルと警戒レベル相当情報（気象情報）の違いを説明する。  ※内閣府ホームページ「『警戒レベル4』で危険な場所から全員避難！5段階の『警戒レベル』を確認しましょう」や政府インターネットテレビ「避難情報がよりわかりやすく！令和3年5月から「警戒レベル4までに必ず避難！」などを活用して説明する。  ◎洪水からの正しい避難方法を理解させる。  ①立退き避難  ②屋内安全確保  ③緊急安全確保  ※内閣府「避難情報に関するガイドライン（p13～18）」やチラシ「普段からどう行動するか決めておきましょう」などを活用して説明する。 | | |
| 3-2.地図情報を使って洪水から避難する地域や場所を理解する。  学習のポイント「地図情報を使って洪水からの避難場所を調べることができることを理解する。」 | | ◎ハザードマップとは何かを理解させる。  【ハザードマップ】  自然災害による被害を予測し、その被害範囲や避難経路・避難場所の情報を地図化したもの。洪水・土砂災害・火山の噴火など災害種類ごとに作成。  【洪水ハザードマップ】  浸水想定区域図に、洪水予報等の伝達方法、避難場所 、その他洪水時の円滑かつ迅速な避難の確保を図るための必要な事項などを記載したもの。  ※【洪水災害編】教職員用副読本（p14～19）や国土交通省ホームページ「洪水浸水想定区域図・洪水ハザードマップ」などを活用して説明する。  ※実際に住んでいる地域の洪水ハザードマップ（自治体作成）を掲示するとしメージしやすい。  ◎洪水からの避難場所と避難所の役割と標識を理解させる。  ※学校や公民館などが避難場所として指定されていることを説明する。  〇指定緊急避難場所  　〇指定避難所  ※内閣府ホームページ「避難場所に関すること」（「指定避難緊急場所」と「指定避難所」の違いについて）」などを活用して説明する。  ◎ワークシートにまとめる。  ※タブレット用の入力フォームを作成（ペーパーレス・可視化）。 | | |
|  | |
| まとめ（●分） | | | | |
| 4.学習内容をまとめる。 | ◎本時の学習内容をまとめる。  ◎洪水に関する知識と避難行動を理解し、事前の備えとして地域の洪水リスクや避難場所を調べ理解しておくことの重要性を確認する。  ◎近くに河川がない地域であっても、河川の近くに行く場面があることを考え、その時に洪水から命を守れるようにしておくことの重要性を確認する。  ◎次時の学習内容を伝える。 | | | |

■評価ポイント

|  |
| --- |
| １　洪水の特徴やその危険性を理解できたか。 |
| ２　洪水の被害が及ぶ範囲を知るための方法を理解できたか。 |
| ３　洪水に備えるための情報と避難行動について理解できたか。 |

■留意事項

|  |
| --- |
| ・本学習は、都道府県教育委員会等が作成した教材を使った学習うことを前提にしている。 |
| ・地元気象台や大学等の専門家と連携をすることによって、より効果的な学習を行うことができる。 |
| ・災害経験により悲しい記憶があったり、つらい思いをしたり、身内を亡くしている生徒がいる場合はその生徒の状況に配慮して授業を行うようにする。 |
| ・近くに河川がない地域であっても、河川の近くに行く場面があることを考え、その時に洪水から命を守れるように真剣に取り組ませる。 |
| ・実際の避難場所がどのような場所にあるのかを、地域の洪水ハザードマップや地図などで確認することも効果的である。（ステップ2\_YOU@RIS子ども版・洪水を活用した学習に続く） |

【教材入手先】

〇台風や集中豪雨から身を守るために（気象庁ホームページ）

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/ame_chuui/ame_chuui_p1.html>

〇「大雨や台風に備えて」（気象庁リーフレット）

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/ooametyphoon/index.html>

　〇新潟県防災教育プログラム（新潟県教育委員会・公益社団法人中越防災安全推進機構）

<http://furusato-bousai.net/>

　〇洪水浸水想定区域図・洪水ハザードマップ（国土交通省ホームページ）

<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/main/saigai/tisiki/syozaiti/>

〇内閣府ホームページ「避難場所に関すること」（「指定避難緊急場所」と「指定避難所」の違いについて）」

<https://www.bousai.go.jp/taisaku/pdf/hinanjo_02.pdf>

〇気象庁ホームページ「自分で行う災害への備え」

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/ame_chuui/ame_chuui_p10.html>

〇「警戒レベル4」で危険な場所から全員避難！5段階の「警戒レベル」を確認しましょう（内閣府ホームページ）

<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201906/2.html>

〇避難情報がよりわかりやすく！令和3年5月から「警戒レベル4までに必ず避難！」別ウインドウで開きます（内閣府ホームページ）

<https://www.gov-online.go.jp/prg/prg22848.html>

〇避難情報に関するガイドラインの改定（令和3年5月）（内閣府防災担当）

<https://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/>

〇新たな避難情報に関するポスター・チラシ (内閣府防災担当)

<https://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/pdf/poster.pdf>

・内閣府

<https://www.gov-online.go.jp/tokusyu/cu_bosai/oame_taifu.html>